様　式　Ｆ－７－２

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

1．機関番号　3 2 6 0 4　　2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　基盤研究(C)（一般）　　4．補助事業期間　平成２６年度～平成２８年度

5．課題番号　2 6 3 7 0 2 4 5

6．研究課題名　地方青年結社における「文」の実践に関する社会史研究

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
3 0 3 9 0 5 8 7	キド　ユウイチ 木戸　雄一	文学部	准教授

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9．研究実績の概要

平成２８年度は、これまでの地方青年結社の「文」に関する資料所在調査と資料収集をふまえ、成果の発表を行った。また、収集した資料から論文・翻刻等を今後も継続して発表できるよう、追加・補足的な調査と資料の整理を行った。
地方文学結社の活動実態の研究としては、会津の「文学攻究会」資料のうち『愛葦遺稿』下冊の翻刻を行い、解題を付して「明治期地方文学資料の翻刻と解題（二）――福島県喜多方市「文学攻究会」資料・『愛葦遺稿』下――」（『大妻女子大学紀要―文系―』第49号、平成29年3月）として発表した。また、翻刻の作成に当たって、福島県立図書館での調査を二回行った。
青年の交際に必要な基本的リテラシーである書簡文についての成果をまとめた。1890年代の青年層による文語体書簡文の実態について調査研究をすすめ、その成果を、国木田独歩の小説「おとづれ」を題材にして考察した論文「「青年」の連帯の失効―国木田独歩「おとづれ」と「青年」の手紙―」（『大妻国文』第48号、平成29年3月）として発表した。
地方青年関係資料の追加・補足的な調査としては、（１）八戸市立図書館所蔵八戸青年会関係資料の調査、（２）『会津日報』掲載記事の調査、（３）「文学攻究会」同人が購読を計画していた『青年界』の入手および調査、（４）地方青年雑誌および回覧誌の収集（『川鹿』、『ワカバ』、『道光』、『文壇』、『頽廼』、『天使』、『緋桜』）を行った。
地方青年関係資料の整理としては、小木曽旭晃『地方文芸史』掲載の雑誌・結社・文学者のデータベース情報の追加を行った。方言矯正については、会津「文学攻究会」資料の翻刻過程で多くの事例を見出すことができ、言文一致と地方青年の「文」との関係について考察できるデータを得ることができた。また、「文学攻究会」の指導的な立場だった菊池研介が同時期に収集した書籍の情報を整理した。

10．キーワード

(1) 国文学　(2) 近・現代文学　(3) コミュニケーション　(4) 出版

(5) 地方史　(6)　(7)　(8)

11.研究発表

〔雑誌論文〕　計（2）件／うち査読付論文　計（0）件　（最終年度分）
／うち国際共著論文　計（0）件　（最終年度分）　／うちオープンアクセス　計（0）件　（最終年度分）

著者名	論文標題
木戸雄一	明治期地方文学資料の翻刻と解題（二）――福島県喜多方市「文学攻究会」資料・『愛董遺稿』下――

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
大妻女子大学紀要―文系―	無	49号	2017	103-176	―

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし

オープンアクセス
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

著者名	論文標題
木戸雄一	「青年」の連帯の失効―国木田独歩「おとづれ」と「青年」の手紙―

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
大妻国文	無	48号	2017	89-111	―

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし

オープンアクセス
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

〔学会発表〕　計（0）件／うち招待講演　計（0）件　（最終年度分）　／うち国際学会　計（0）件　（最終年度分）

発表者名	発表標題

学会等名	発表年月日	発表場所

〔図書〕　計（０）件　（最終年度分）

著　者　名	出　版　社		
書　　名		発行年	総ページ数

12.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕　計（０）件　（最終年度分）

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕　計（０）件　（最終年度分）

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日 出願年月日	国内・外国の別

13.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計（０）件　（最終年度分）

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

14.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（１）国際共同研究：－

15.備考

（課題番号： 26370245 ）
（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。